

佳作

## ありがとうの言葉

茨城県 土浦市立右郷小学校四年 笠井 夢杏

あー…わたしは、しょう来何になろうかな…。今までわたしは、しょう来のゆめがころころ変わっていました。ねこカフェの店員や、パティシエなど、どれも本当になりたいのかよく分かっていませんでした。

夏休み、お母さんの仕事場に行く事がありました。お母さんと一しょに働いているのは、かんごしやかいごし、理学りようほうし、ケア・マネージャーがいます。デイケアを利用している方は、半身まひで体半分が動きにくかったり、足が不自由な方、耳が遠い方、おしゃべりがあまりできない方などいろいろな方が利用しています。

わたしは、一日利用者さんとお話をしたり、おり紙をおったりしてすごしました。近くにいた利用者さんが、つえをたおしてしまいました。わたしは、

とっさにひろいあげて、

「どうぞ。」

と、差し出したら、

「ありがとう。」

と、言ってくれました。この時わたしの心は、あたたかな気持ちになりました。しょく員のみんなは、明るいえ顔でとてもやさしく、声をかけたり、お世話をしたりしていました。車いすを使っている方を、いすにい動する時、利用者の方をかかえてかい助します。見ている、「重そうで大変そうだな、一人でもち上げられるのかな？」と思いました。どんな時でも

「大じょうぶですか？いたくないですか？」

と、え顔で声をかけています。利用者の方も、

「すみませんねえ、重いのに…。ありがとう。」

と言っていました。いつもえ顔でせっせといてすごいなと思いました。

わたしは、一人のしょく員の方に、この仕事をしていた良かったと思う時は、どんな時かを聞いてみたら、

「『ありがとう』。と言われた時かな。」

と答えてくれました。わたしも、この一日でありが

とうと、言われる事が何回かありました。ありがとうという言葉は、人の心を明るくしてくれるまほうの言葉だと思います。

わたしは、この一日を通して、決意した事があります。それは、かんごしになる事です。前までは、何となく思っていたけど、今日の事で自分の本当のゆめを見つけました。だれかのために、役に立つ事をして、いろいろな人、たくさんの人を助けられたらいいなと思います。